

各地で活躍する ライグラス類

水田裏作牧草の王。

イタリアンライグラス

いね科牧草のうちで最も生育早く、短期間で良質の青草を生産する1年生草で、水田裏作に、田畠輪換に、放牧地に、あるいは永年採草地の初期収量を補うために今では、全国各地で利用されている重要な牧草です。再生力が旺盛なため、集約的に数回刈りでき、麦類や他の牧草との混播にも良く、また根の発育が旺盛で、土壤に多量の有機質を残すというすぐれた性質を持っております。

放牧地用には。

ペレニアルライグラス

草丈は低いが、再生力非常に早く、軟らかい豊富な葉が多く、全く理想的な放牧牧草です。ラデノクロバーの混播相手として良く、また一般採草地の下草として混播するのも効果的です。暑熱や旱ばつに余り強くありませんが、土壤水分が適当であれば家畜のじゅうりんに耐え4~5年に亘って良好生育を続けます。

ペレニアルライの大型品種。

マンモスペレニアル

葉や茎が大きく太く、草丈もやや高く、一見して巨大な感じのするペレニアルライグラスの大型品種で、収量は3~5割増収という優れた特性をもっております。利用はペレニアルライグラスと同様ですが、増収が魅力です。

短期輪作草地には。

Hワンライグラス（ショートローテーションライグラス）

ペレニアルライグラスとイタリアンライグラスの交配種。それぞれの特徴を備えており、短期輪作(2~3年用)の主体牧草として利用されています。とくに、灌漑草地では俄然威力を發揮して生育繁茂し利用年限も長くなります。草地造成の混播用、園地の被覆用としても広範囲に利用されています。

マンモスペレニアルライ



イタリアンライグラスの 秋まき栽培

イタリアンライグラスは、作り易い牧草で、一般牧草と同じように作付して良く生育しますが、吸肥力が強く、施肥によって、増収が著しいので、肥料は充分に与えることが大切です。栽培の要点は次の通りです。

播種期

北海道のような寒冷地では、普通春まきですが、夏作の麦類、大豆、かぶ、デントコーンなどの収穫1ヶ月位前に中播きし、主作物収穫後、採草・放牧として利用できます。温暖地では、秋まきが良く、東北の山形県、岩手県でも秋まきし充分収かくすることができます。9月上旬~10月下旬が適期です。

播種量

単播……2~3kg (10アール当り)
混播……0.5~1.0kg (10アール当り)

播種法

散播または畦幅30~40cmの条播、普通畑の場合は耕起、施肥して播種し、覆土はうすく鎮圧をします。水田裏作の時は水稻立毛中に撒播するか稻刈取後耕起整地して散播または条播する。排水不良田では高畦として広幅に条播します。

混播例 (10アール当りkg)

{イタリアンライ	1.0
えんぱく	4~5
{イタリアンライ	1.0
レング	3.0
{イタリアンライ	1.0
ベッヂ	6.0
{イタリアンライ	1.0
赤クロバー	1.0

(またはアルサイククロバー)

水田裏作中播きは、落水後5~10日頃、歩いて見て、水分のにじみ出る程度の時が良く、立毛期間は20日を限度とします。稻刈り取後、耕起播きの場合は播種床の整地と鎮圧はていねいに行なって下さい。

施肥量

肥料は充分に与えて下さい。窒素肥料を多目にとくに春先きの牛尿の追肥で著しく増収されます。

施肥例 (10アール当り)

硫安20kg、過石30、塩加10

春先きの追肥 硝酸40~60kgを2~3回に分施、堆厩肥、牛尿の施肥を出来るだけ多目に。

いね科牧草の二大主要種

オーチャードグラス

全国どこでも生育し、しかも良質多収なオーチャードグラスは牧草作りの主体となります。多年生いね科牧草で暑さに強く、春の生育や再生が早く、輪作内の採草地に、放牧地に、また山野の草生改良用に、極端な湿地でない限り混播草として活躍しています。

在来種の他に次の優良品種があります。

フロード

中生種で、葉の量多く、再生力の旺盛な多収種で採草放牧いずれにも利用できる優良種。

雪印改良種

普通種より出穂期が約2週間おそい晩生多収種です。葉が多く、再生力も強く、普通種の3~4割は多収です。オーチャードの大敵雲形病にも強く、従って夏枯れにも強い。



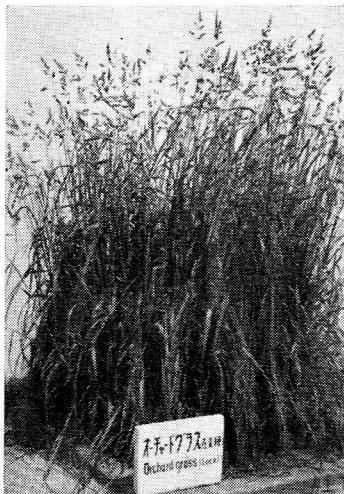
自給飼料確保のため、野草地や樹林地をどしどし牧草地に改良しましょう。

草地造成には、機械力による大規模開発と、小面積で機械力によらず、小規模で行なう方法があります。

独力でできる小団地の草地造成について述べましょう。

●草地改良のための準備と注意

- ・先ず始めに野草ができるだけ除去します。
- ・消石灰や炭カルを散布し、酸度を矯正すると共に肥料は充分に施して下さい。(10t/ha当たり、炭カル200kg、熔燐60kg、尿素5kg、石灰窒素8kg、過石12kg、塩加8kg程度)
- ・土壤流亡の甚だしい傾斜地には、先ずケンタッキー31フェスク、ウィーピングラブグラスを等高線に沿って2~3m間隔で帯状に植えつけ、土壤の流亡を防ぎその間に牧草を播きます。
- ・播種は雑草生育の弱まる秋が最適です。東北・北海道では8月中旬、暖地では9月中~10月上旬まで。
- ・降雨直後の播種は発芽のために良い。覆土は浅く充分



チモシー

草質が良く、乾草、採草、放牧いずれにも利用され、とくに寒さに強い多年生いね科牧草です。東北以北やその他の高冷地、寒冷地の草生改良には欠くことのできない牧草で、作り易く、他のクロバ一類と混播して優良草地が作れます。晩生なので、硬くなるのもおそらく、また倒伏せず、乾草として仕上りが良好です。関東以西の平地では利用出来ません。

在来種の他に次の優良品種があります。

クライマックス

普通種より約10日内外熟期のおそい品種で、とくに葉の量が多く、病気に強いので、栄養価の高い質の良い草が生産されます。

雪印改良種

クライマックスより更に晩生で、草丈高く葉量も多い多収種です。

鎮圧します。

・野草や雑草が旺盛に伸びて来たら少し高目に掃除刈を行ないます。追肥をしながら頻繁な刈取りが成功の鍵です。

●簡単な草地造成法

○普通追播法

追肥後、デスクハローなどで地表を浅くかき起し、牧草を播種した後、軽く覆土し、鎮圧しておく方法で、緩かな傾斜地や比較的肥沃な土地に適します。

○堆肥団子法

腐熟した堆肥を10t/ha当たり約1,000kg用意し、これに化学肥料、牧草種子を混ぜて、1個1.5kg程度の大きな団子を作り、3.3平方m(1坪)、2ヵ所の見当で地表を唐鋤でうすくけずり、団子を踏みつけておく方法です。

○帶状耕起法

急な傾斜地や堤防で行なう方法で、法面と直角の方向に20~30cmの幅で横に帶状耕起し播種する方法で、土壤流亡防止にも役立ちます。

○クロレートソーダによる追播法

笹や強靭な雑草の繁茂している場合、あらかじめクロレートソーダなどの塩素剤を散布して、害草を枯らしておき、約1ヵ月後に普通追播法に準じて行ないます。



強健で多収ないね科牧草



ケンタッキー31フェスク

山野や瘠地の草生改良用

禿山などの瘠地や気候上の悪条件にも良く耐えて生育し続ける多年生のいね科牧草です。暑熱の時期にもいきいきと伸び、真冬でも雪のない地帯では青々としております。そして、強健でありながら雑草化しない利点があり、不良地の採草用・放牧用にとり入れられるばかりでなく、その特性を利用して、畦畔、河岸堤防地、路傍、河川敷、傾斜地の林地や果樹園の土壤流亡防止用などにも用いられています。

メドウフェスク

採草、放牧いずれにも
向く草地改良用

ライグラスに似た、多年生いね科牧草で、寒冷な気候に耐え、湿潤地を好み、また泥炭地などの不良地でも良く生育します。家畜の嗜好も良好で再生力も旺盛なため乾草、放牧用更に草地改良用として需要が急激に増加している優良種です。

ケンタッキーブリューグラス

放牧、芝生、被覆用

暑さにはやや弱く、冷涼肥沃地に良く生育するいね科多年生で、葉が細く、光沢があり、草質が極めて良いので、芝生用としても利用されています。草丈やや低いが、家畜のじゅうりんに強く、肥沃地の放牧用草、堤防などの傾斜地の被覆用に適しています。

トルオートグラス

耐旱、耐暑の採草用

夏の暑さや旱ばつに強いのが特徴で、夏季高温乾燥地方で春秋には、オーチャードグラス以上の生育を示す多年生のいね科牧草です。軽い土壌に適しますがやせ地でも充分生育します。茎が細いので、他の牧草と混播し、良質の乾草を作ることもできます。

スムーズブロームグラス

耐暑性の永年用

いね科牧草中で最も栄養が高く、強い地下茎が土中深く入りますので、乾燥に耐え寒さに強く不良地にも良く生育する多年生のいね科牧草です。吸肥力が大きく、とくに窒素肥料を充分に与えれば、増収が顕著です。地下茎があるので、永年採草地や永年放牧地に利用し通常アルファルファや白クロバーとの混播が良い。

フィールドブロームグラス

寒地や砂地の水田裏作用

寒さに強い寒冷地の水田裏作用。1年生のいね科牧草で、イタリアンライグラスの越冬困難な地帯でも良く冬を越します。早春の萌芽も早く、草丈はライ麦の半分位ですが、分けつ旺盛でライ麦以上の収量です。播種も水稻中まきでも良く、また乾燥地でも生育する優良種です。

レッドトップ

湿地、酸性地用

特に湿地に強い多年生のいね科牧草で、放牧または刈草用として利用されています。草の質はやや硬く、強い地下茎がありますので、不良地傾斜地用として適し、耐湿性のため畦畔草、河川敷用として適しています。丈夫で密に繁茂しますので一部芝生用としても利用されています。

リードカナリーグラス

湿地の永年用

湿地や泥炭地のような不良土壤に非常に強い多年生のいね科牧草で、強い地下茎でどんどん拡がり、乾燥地に耐える強靭な草です。草丈2mにも及び、収量は相当あがりますが、他の牧草の生育しない土地に導入する刈草用牧草です。

ウィーピングラブグラス

砂丘地、傾斜地用

夏の暑熱と旱ばつに非常に強い暖地向のいね科草で、暖地では多年生、寒地では1年生です。葉は非常に細く、しなやかで、根が非常に強いことで、傾斜地の土壤流亡防止用として極めて有効です。

サンドラブグラス

砂丘地、傾斜地用

ウィーピングラブグラスと同様に暑さや日照りに強い暖地向の多年生いね科牧草で、草姿はややレッドトップに似ておりますが、ウィーピングラブグラスと同様に利用します。